

1. 担当教員：

弘前大学白神自然環境研究所 山岸洋貴

2. 課題名：

青森の食用菱の DNA による識別と新たな食用菱の開発

3. 概要：

菱の実（ヒシ属植物の果実）はかつて有用な食料源として全国的に広く利用されていた。現在は九州北部を中心に栽培されているが、青森県ではほとんど利用されていない。しかし、休耕田を活用した栽培が比較的容易であり、青森県においても作物としての利用が期待される。

本研究では、青森県における菱の新たな食料資源としての利用を模索する為、1. 県内に生育するヒシ属植物の遺伝的背景を明らかにし、2. 休耕田を利用した新たな品種の開発を試みる。現在遺伝的背景を探る為、主に有用な遺伝子マーカーの開発を行っている。

4. 参考資料：※図や写真とそのキャプション



図 ため池に生育する野生のヒシとその果実

クリの実のようにゆでるとホクホクして美味しい。